



元住吉ミュージックフェスティバルに 多大なるご尽力をいただいた 若林かおりさんのMCで進行しました。

「音友会」は、若林かおりさんに沢山お世話になりました。その始まりは、「第1回元住吉ミュージックフェスティバル(MMF)」が開催された2019年。「音楽のまち・かわさき推進協議会」から、レコードコンサートをメインに開催している「音楽好きな友の会」が、地域全体のお祭りにしようと、初めて企画し主催する4月の音楽イベント、「元住吉ミュージックフェスティバル」の放送告知出演の嬉しい連絡をいただいたのです。



▲MMF紹介放送中の牧野くみさんと

なにか、とても不安が有りましたが、音友会の演奏スタッフとして参加していたアコースティックユニット「くじら座」牧野くみ(水産系シンガーソングライター)が告知出演をお引き受け、ベストトークの中ONAIRは無事に終了。この出演以前にも、元住吉駅前の「音友ハウス」移転などで、かわさきFM「かわさきホット☆スタジオ」に出演、楽しいトークをさせていただきました。しかしながら新型コロナウイルス対策を万全の態勢で行う事を考慮し、2020MMFは延期となってしまいました。それでも、若林さんにはMマガジン2022年11月号で表紙のモデルをお願いしてご登場いただき、2023年3月3日(金)「桃の節句」には第2回MMFの告知でもお世話になりました。今回、いつかプロのMCの方にMMFの進行をお願いしたい……の思いがやっと叶いました。実行委員会一同感謝しております。有り難うございました。そして楽しい開催にさせていただきました。若林さんからもコメントをいただいておりますので、ぜひご一読ください。

Wakabayashi kaori

ラジオパーソナリティー、インタビュー、MC:若林 かおり

第3回元住吉ミュージックフェスティバルのMCを担当させて頂きました、若林かおりです。桜満開の元住吉にて、とても素敵な音楽祭に携われたこと、嬉しく、また、仕事を忘れてしまいそうなほど、生の音楽を存分に楽しませて頂きました。朝11時00分~夜8時00分まで演奏を繰広げるといって驚異的な音楽祭。控え室もご用意くださったのですが楽しすぎてずっと観客席におりました。貴重な経験をありがとうございました。ご出演者、ご来場下さった皆さま、運営スタッフの皆さま、誠にありがとうございました。



▲9時前に渡るMMF進行中の若林かおりさん



▲大場DJ担当とレコードコンサート紹介

た。「PAを最小限で楽器本来で聴く音楽祭」というこだわりのもと、元住吉にはこんなにも音楽を愛し、楽しんでおられる方がいらっしゃるのだなあ、と感激しました。最近、エレキベースを始めたばかりの私にとって、その姿はとても刺激的なものでした。国、文化、ジャンル、年齢は全く関係のない、集まった人達の共通点はただ一つ、【音楽が好き】そんな人達が元住吉に集まって、これから益々、元住吉ミュージックフェスティバルが大きく長く続いていくことを願っています。音楽っていいですね。



音楽好きな友の会
http://ontomo.jp/

後援
●川崎市中原区
●「音楽のまち・かわさき」推進協議会
●公益財団法人 川崎市国際交流協会



元住吉ミュージックフェスティバルお礼号

2024
6
June



2024年6月はお休みです

音友レコード倶楽部

次回は7月14日(日)のプログラムは「ジャズファンの集い」と「持参レコード/CDを楽しむ集い」

- 国際交流センター・ホール
 - 9:20開場/9:30開演
 - 参加費: ¥1,500(高校生以下¥500)
- ※詳しくは音友会HPをご覧ください。

秋山幸男(あきやまゆきお): サックス奏者
1964年5月21日生まれ。18才の時にギターを始めて、以後音楽三昧の生活が始まる。20歳の時、「中部ヤングミュージックフェスティバル」の決勝に出場。その後上京。「NHKヤングミュージックフェスティバル」で審査員特別賞受賞、講談社主催の「ヤングミュージックフェスティバル」全国大会出場し、20歳後半でサックスに目覚め独学で勉強し現在に至る。今のバンド「ジャジャ」では年間250本以上のライブイベントではお世話なしています。曲はほとんど私が書いています。

連載02 島倉 学があなたに贈るミュージカルの世界へ ミュージカル鑑賞の基礎知識

(前回からのつづき)

ミュージカル『ノートルダムの鐘』の中で、ぜひお聴きいただきたい楽曲は私のレポートでもある「地獄の炎(Hellfire)」です。

ストーリーは、15世紀末のパリ。1482年1月6日の朝、パリ・ノートルダム大聖堂の鐘が鳴り響く中、ラテン語の壮大な聖歌から舞台が始まる。最高裁判事であるクロード・フロローは、権力を振り翳し人々から恐れられる存在だった。彼には、子供の頃に孤児として共にノートルダム大聖堂で引き取られた弟のジェアンがいた。

ある日、兄フロローの誕生日祝いにとジプシー女性のフロリカを連れてきたことがきっかけでジェアンは破門になってしまふ。数年後、突然届いた手紙を読んで駆けつけたフロローは、天然痘で死にそうになっているジェアンと再会する。その時、彼からフロリカとの間に生まれた赤ん坊を託された。ところが、怪物のような顔をした赤ん坊を見てフロローは思わず息を呑んだ。彼は葛藤の末、人目につかないノートルダム大聖堂の鐘楼でその赤ん坊を育てることにした。そして、赤ん坊には「出来損ない」という意味の「カジモド」と名付けた。

神に仕える身として教を忠実に守って慎ましく生きてきたフロローだったが、弟と同じようにジプシー女性のエスメラルダの魅力に引き込まれてしまふ。彼は、己のプライドや地位との葛藤に苦しみを

す。そこで歌われるのが、フロローの「地獄の炎(Hellfire)」です。結局、彼も1人の人間だった…最後まで人を愛することはできず、歪んだ愛情で彼女を追い詰めていきます。その心の醜さこそ、カジモドより本当に恐ろしい怪物だというメッセージがこの作品に込められています。

- Hellfire
ラテン語和訳: 島倉 学
CONFITEOR DEO OMNIPOTENTI
全能なる神よ 私の罪を告白致します
- BEATAE MARIAE SEMPER VIRGINI
終生処女なる聖母マリアよ
- BEATO MICHAELI ARCHANGERO
大天使聖ミカエルよ
- SANCTIS APOSTOLIS
聖使徒よ
- OMNIBUS SANCTIS
全ての聖人よ
- ET TIBI PATER
そしてあなた 聖父よ
- QUIA PECCAVI NIMIS
私は罪を犯しました
- COGITATIONE
私の思考(心)
- VERBO ET OPERA
私の言葉と行動
- MEA CULPA MEA CULPA
これが私の過ち 私の過ちです
- MEA MAXIMA CULPA
これが重大なる私の過ちです
- KYRIE ELEISON
主よ憐れみ給え

クロスオーバー歌手 島倉 学

Shimamura Manabu

曲中では、聖歌隊が歌うラテン語はフロローの理性を表し、フロロー自身が歌う原詞は葛藤と弁解を表しています。この相反する意志が交互に歌われるところが最大の魅力です。ぜひ、私のラテン語和訳と共に皆さまお聴き下さい。



国立音楽大学声楽科卒。劇団四季出身。クロスオーバー歌手。近年は、クラシック・コンサートのソリストやミュージカルのメインキャストで出演。現在活躍中のプロ歌手をはじめ、有名ミュージカル俳優、ジュニアなど数多く歌唱指導。ヴォイス・トレーナー歴22年を誇る。現・島倉 学ミュージックスクール代表講師。元・広瀬香美音楽学校客員講師。元・劇団スーパー・エキセントリック・シアター[アクターズコース]歌唱講師。

常連の参加者との共同製作です。撮影、編集はギター奏者の永瀬晋が担当。新規参加の前に、ぜひご覧ください。YouTube配信中。

音友レコード倶楽部PR動画!
「音友レコード倶楽部」を
わかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

島倉 学ミュージックスクール

驚くほど歌い方が上達する
「島倉 学メソッド」

歌が人生を変える
音楽は決して貴方を裏切らない

島倉 学ミュージックスクール

30分無料体験レッスン実施中!

【レッスンスタジオ】元住吉駅西口 徒歩5分
島倉音楽スタジオ
〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月3-35-1 ART FLATS B1F(106F)
【お問い合わせ】
島倉音楽事務所 営業日: 火曜~土曜 12:00~21:00
代表 島倉 学 定休日: 日曜・月曜

TEL 044-567-5940 Mail: info@ms-musicschool.com HP: https://www.ms-musicschool.com/

川崎市国際交流センター

市制100周年記念/国際交流センター開設30周年記念
2024多文化共生フォーラム・コンサート

多様性は可能性! みんなでつくるこれからの カワサキ



これからのカワサキの未来を多文化共生の視点から皆と一緒に考えてみませんか。

- 日時: 2024年7月6日(土) 13:00~16:00(開場12:30)
- 会場: 川崎市国際交流センター ホール
- 基調講演:
「お互いに歩み寄る社会のために
一わたし・あなたにできることは？」
講師: ウズビ サコさん(京都精華大学教授・前学長)
- パネルディスカッション: 地域で活動している人々が経験や思いを語ります。
- コンサート: 東京交響楽団のメンバーによる弦楽四重奏
- 定員: 200名(応募者多数の場合、抽選)
- 申込方法: 申込フォームから6月13日(木)までに
お申込みください。

申込みフォーム▶

●お問い合わせ・お申し込み
公益財団法人川崎市国際交流協会
TEL 044-435-7000
E-mail: kiankawasaki@kian.or.jp



川崎市生涯学習プラザ

第137回 ランチタイム・ロビーコンサート

出演: アンサンブルkiratto☆
うた: 富岡裕理
フルート: オカリナ: くまがみみか
ピアノ: 田口恭代



[プロフィール]
子育てを通じて知り合い2010年3月に結成。うた・フルート・ピアノ、それぞれの専門分野を生かして、小さなお子さまからご年配の方まで楽しんでいただけるコンサートを目指して活動しています。

- 予定曲
・ブッチーニのアリアによるオペラファンタジー「私のお父さん」
・からたちの花~この道
・三つのわらわら
・ディズニー映画「ポカホンタス」より、カラー・オブ・ザ・ウィンド
・おんがく

- 日時: 2024年6月20日(木曜日)
12:00開場/12:10開演/12:40終演予定
- 料金: 無料
- 場所: 川崎市生涯学習プラザ・1Fロビー

●お問い合わせ
(公財)川崎市生涯学習財団 総務部 総務係 ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5560 E-mail: concert@kpal.or.jp
川崎市中原区今井南町28-41
ホームページ https://kpal.or.jp/

連載91 「くじら座」日記 我武者羅

我武者羅に活動することこそ至高とされたあの頃は違い、34歳になる私には品質と出来栄だけが、しかも「当たり前」となると立ち足はだかる。音楽自体は変わらないのに、そこに立場が含まれることで心持ちは変わっていく。ある意味、これは順調に成長してきた証であると言えるし、一方で大人になりすぎてきているようなつまらなさも感じる。アーティストは感性に柔軟さを求められるが、社会に従順ではいけない。マニュアルどおりの作品を作ったところで、そこに人を感動させる力ではないからだ。

「創る」ということはなんと難しいのだろう。聞くのは簡単で、好きも嫌いも一瞬だ。この一瞬のために、どれほどの葛藤を詰め込めば、嫌いな相手にも伝わるのか。あらゆる想いを込めても、届き切らない人もいれば場所もある。このトライアンドエラーをただ繰り返して、正解だと思える道を切り拓

いていく。荷物はカリスマだけで良い。私の進む道こそ道なのだ。もう少し、もう少しで、一つ夢を叶えることができるかもしれない。長い時間をかけて進んできたことが、形にな

りかけている。このMマガジンを通じて、いつか良いお知らせができるように頑張りたい。文字どおり純粋に頑張ることができるよう、やるべきことをやっていくつもりだ。



※連載「くじら座」日記は、今回お礼号のため3ページに掲載させていただきました。

Makino Kenjo

シンガーソングライター 牧野 憲人

元住吉ミュージック・フェスティバル開催御礼特集



楽器本来の音が響き渡る手作り音楽祭

コロナ禍による2度の延期を経てようやく開催された第2回に引き続き、今年も3回目が無事閉幕いたしました。みなさまのご来場、誠にありがとうございました。スタッフや出演者などからのコメントをまとめました。

第3回元住吉ミュージック・フェスティバル開催報告

第3回元住吉ミュージック・フェスティバル実行委員会スタッフ:大場 アキヒロ

桜がちょうど満開となった4月6日(土)、川崎市国際交流センター・ホールにて第3回元住吉ミュージック・フェスティバル(MMF)が開催されました。去年までの運営経験者が残っておらず、スタッフはゼロからのスタートとなりましたが、その分地元元住吉のボランティアスタッフの方々の応援もあり「街ぐるみの手作りの音楽会」として開催できました。

しの方もいらっしゃる、約250席のホールが一瞬立ち見もできるほどの盛況となりました。MMFは地元、地域との繋がりを第一に考えて進めてきましたが、多少なりとも地域への貢献ができたのではないかと考えています。

させていただきます。閉演後のアンケートやお客様の声には「とても楽しめた」「感動した」「無料なことが信じられない」「また是非来年もやってほしい」等、嬉しいお言葉も多かったです。地元と一体になった、PAを最小限で楽器の生音で聴くこのMMF、出演者の方にも来場されたお客様にも楽しんでいただけたのではないかと思います。この感動を忘れずに、また来年皆様にお会いできればと思います。



▲初めて参加で大活躍のMMF-2024スタッフ一同

音楽が繋ぎ育む地域のつながり

Good Neighbors Big Band バンドマスター:副島 雄二

4/6(土)、第3回元住吉ミュージックフェスティバルに、私がバンドマスターを務める『Good Neighbors Big Band』で昨年に引き続き出演させていただきました。当日、運営スタッフのみならず綿密な準備のもと、朝からご来場いただいている熱心なお客様の対応を声を掛け合い連携しながら進めており、準備の段階でわずかながらサポートさせていただいた身としてはとても頼もしく感じました。

体験をいただくことが出来ました。熱心に音楽に聴き入る方、手拍子しながらキラキラした目で知っている曲を口ずさむ方、ステージの私と目が合って照れながら手を振るちびっ子たち(笑)、と様々な楽しみ方で30分を過ごしていただけたかと思えます。

ずっと安定して音楽を続けて来たわけではありません。社会人バンドあるあるだと思いますが、卒業直後は活発に活動を継続出来ていたとしても、20代30代と時を経るごとに、転勤、出産、子育て、介護、自身の病氣、など本職じゃないからこそ音楽活動が途絶える理由は身近に転がっていることが常です。



▲会場中にビッグバンド・サウンドが響き渡った迫力ある演奏

▲バンドマスターの副島 雄二さん

元住吉ミュージック・フェスティバルに初参加!

ソウリーヴ・ミュージック・スクール・メンバー/MMFスタッフ:佐伯 奈々重

Souleave music schoolに通ってまだ一年目ですが、ご縁があってMマガジンの編集に携わり、MMF実行委員会の一員に加わりました。更にはスクールの先生と生徒混合バンドで出演までさせていただきました。昨年は街に掲示されたポスターを羨望の思いで眺めていただけでしたが、今年はスタッフと出演者を一気に経験できる、不思議な巡り合わせだと感慨深くなります。

様、演奏者、スタッフ全員が安全に楽しめる音楽祭になるように願いました。有り難いことに予想以上の多くの方々から出演のご応募をいただき、スタッフ一同身の引き締まる思いで選考いたしました。演奏の場を求める人は大勢いるので、この音楽祭は今後も継続できればと思います。



▲楽器のみならずMマガジンの校門も担当

聴きに行ってきた!

ドラム教室「ムールドラムス」講師:ムール 瑠美

さる4月6日第3回元住吉ミュージックフェスティバルに行ってきた!国際交流センターは駅から少し遠いですが、私が動いているドラム教室ムールドラムスから一本道の徒歩3分です。着いたのはお昼前くらい、入り口にはファスティバルなのに大きな看板

板などは出ていませんでした。中に入るまでは不安でしたが奥のホール前には広い受付場所があってMMFの服を着ていた人がたくさんいたので安心しました。タイムテーブルをいただき、いざ中へ。ちょうど"COTONEKO"さんというアーティストの琴の演奏が始まる前

でした。MCさんとのやりとりや説明を聞いてすぐに演奏に入りました。琴を音を生で初めてきく二人の子供達(7歳と4歳)は綺麗な音だねと聞き入っていました。お腹がすいたというので、一旦帰ってまた夕方に行きました。ちょうど口笛サウンドがかっこいい「ピーターパイパー」というバンドの演奏を見ることができました。バンドと口笛の融合が面白い!すごい早いテンポでもピッチを外さない口笛はさすが世界チャンピオン。子供達も大喜びでした。



▲大迫力のゴスペルクワイア BTGC

最後に"BTGC"というゴスペルクワイアを見ました。楽しそうに歌うシンガーの方々の表情が印象に残ってまったり気分が帰宅。元住吉という地元で色々な音楽に触れられてとても良い機会でした。来年も是非家族で観覧しに行きたいと思っています。

連載15 脱線ニューヨーク滞在記 前号からの続き

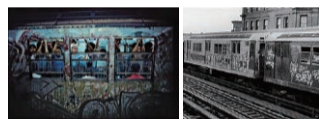
Demura Katsuaki 出村 克明

今では見られない光景の一つに'70年代頃のニューヨーク地下鉄があります。良きにつけ悪きにつけニューヨークのイメージを表していました。駅の構内、電車の外も中もいたずら書き、凄いのには床も天井もでした。ねぶた祭りやリオのカーニバルの山車の如く派手な衣装のギャングやダンサーで超満員にして引き回したら面白いでしょうね。僕はそんな地下鉄を利用してました。誰かと話しているかのように独りで会話してる太ったおばさん、笛を吹いている人、なにしろ派手な人、その中に普通に通勤してる人やユダヤ教の人達、トレンチコートの謀報員も。風俗、人種のオンパレード。ニューヨークの地下鉄は犯罪の温床とか言われていたようですが、僕は一度も感じた事はなく普通に乗ってました。一度泥酔してそれも真夜中車内で寝込んでしまい終点から始発駅を二往復した事がありました。時折中年のおばさんが僕に何か云っている様でしたが、そのおばさんが握らせたのか僕の手にキリスト教伝道の小冊子がありました。ニューヨークの地下鉄は終電がないのですが終点で駅員が見回りしないのですかね。それとも普通にいるジャンキーがアル中と思ってるはずと。そんな感じでないあの落書きはない道理になります。

ある日、一人の女性が訪ねてきました。ロフトの中を見たいとの事でした。彼女は僕がシェアする人を探してるのを聞いて来たのでした。後に知ったのですが、彼女はその時はB.B.キングと住んでいて別に自分のスタジオを探してたようです。彼女は ぱっと見て「ここ、私には無理ね」そして「違う階にロフトを探してる日本人がいるから彼らに紹介する」と云って帰りました。翌日、二人の男が昨日の彼女から聞いたと云って訪ねて来ました。僕らはお互いOKになって後で女性一人も来る事でシェアする事になりました。ギターのマスコ(増尾好秋)、ドラムのヒロシ(村上寛)と紹介し、JAZZミュージシャンでNYに来て間もない頃で音を出せる所を探してたの事でした。ヒロシさんは直にドラムセットを探しに、僕も一緒に専門店に行きました。ちょうどその時エルビン・ジョーンズが居合わせてシンバルを探しに来たのか、人差し指にシンバルを載せ指ではじいて聞き比べをしてみました。

- パーカッション奏者
コンセプチュアルアーティスト
現代アートでは空気、無を梱包して送る
エメールアートを展開している。

りました。久しぶりにレコードを聴いて、脳みその奥に仕舞われていたあの頃のエンドルフィンが出てジンジンしました。 次号へ ポーパ



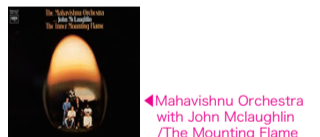
▲70年代ニューヨーク地下鉄



▲ロフトでの作品 1991 ガラリアー現 個展案内状



▲ロフトでのシルクスクリーン制作中



▲Mahavishnu Orchestra with John McLaughlin /The Mounting Flame

連載73 Course: Addicted to Guitar スクールバンドで参加!

Nogase Susumu

ブルースロックピギン 永瀬 晋

毎度お世話になっております永瀬でございます。今月はいつものギターネタと打って変わって、先日行われました「元住吉ミュージックフェスティバル」に教室の生徒様と参加した感想をご報告させていただきたいと思えます。前回開催時はソロで参加でしたが、折角のホール演奏ということもあり今回はワイワイやった方が楽しいかなと思いついて、生徒様をお誘いしての少数精鋭即席バンドを結成いたしました。バンド名も「The SPREADERS」(ザ・スプレッドーズ)に決定。写真右からGt・Sさん、Gt.Vo・Nさん、Gt.Vo・Iさん※バンド名はNさんのアイデア。結成も本番約1か月前の急仕込みでしたが、演奏曲決め、アレンジも皆様の個人練習の成果もあって一回目のリハでほぼ完成して、残り日数で精度を上げるのみ

というかなり順調な仕上がりに。曲目も「夢の中へ」「Ziggy Stardust」「白い雲のように」「日曜日の使者」に決定。そして迎えた本番ではヴォーカル、リズムギター、リードギター、MCとメンバー 4人の役割もしっかりしていた



Souleave Music School logo and contact information: SouleaveMusic School http://souleave-music.com/ 元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩3分 チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992 レッソンは8:00~22:00開始迄、詳細は要連絡

多大なるご協力ありがとうございました。「第3回MMF-2024」も、前回は引き続き後援団体、地域町内会、商店会の協力のもと無事終了いたしました。「音楽好きな友の会」の地域の方々と作り上げる「手作り音楽祭」「楽器本来の生音で聴く」の「音楽祭概念」が浸透し、アンケートにも次回を望むご来場の方々の声、また演奏家の方からもアットホームな音楽祭に「次回も参加をお願いします」の暖かい声を聞かせていただきました。ぜひ次回も開催したいと思います。また今回開催するにあたり会場となりました国際交流センター関係者の皆様の多大なるご協力に感謝いたします。ありがとうございました。 第3回元住吉ミュージック・フェスティバルスタッフ一同